

# 情報連絡員総括表（2020年11月）

## － 静岡県中小企業団体中央会 －

本書は、静岡県中小企業団体中央会が委嘱した情報連絡員〔協同組合等の役職員 60 名〕による毎月の景況調査の集計結果です。

1. 概況報告
2. 項目別の前月・今月のDI値の比較
3. 情報連絡員からの報告
4. **中央会・行政への要望**
5. 主要三指標におけるDI値の推移（グラフ）

◎売上高等の9項目につき **前年同月と比較し**、好転・不変・悪化 のいずれかを回答

$$DI \text{ 値} = [(好転組合数 - 悪化組合数) / 調査対象組合数] \times 100$$

※全項目が前年同月比「不変」となった場合は、DI値は基準値 ±0.0(=横ばい)で推移

※「在庫数量」のみ、プラス値が高いほどマイナス要因と定義

## 1. 概況報告 （回答者数 60 名：回収率 100%）

○ 2020年11月のDI値は、前月との比較において「取引条件」「収益状況」「業界の景況」の3指標が悪化、それ以外の6指標が改善する結果となった。  
 製造業、非製造業ともに「売上高」は改善しているものの「業界の景況」は悪化している。  
 Go To キャンペーン施策は三次産業を維持するために国民に対してリスク転嫁をしているだけであり、将来への展望を見据えた施策が必要とのコメントが寄せられている。

○ 「製造業」では、前月との比較において「業界の景況」が悪化、「販売価格」が横ばい、それ以外の「売上高」「収益状況」を含めた7指標が改善する結果となった。  
 主要3指標については令和2年6月を境に上昇を続けていたが、今月は「業界の景況」が前月を5ポイント下回り、5ヶ月ぶりの低下となった。  
 新型コロナウイルスの影響で受注が激減し、組合員が経営破綻した組合も出ている。

○ 「非製造業」では、前月との比較において、「取引条件」「収益状況」「業界の景況」の3指標が悪化、「雇用人員」が横ばい、それ以外の「売上高」を含めた4指標が改善する結果となった。  
 新型コロナウイルス第3波が到来したことから、11月後半から落ち込みが見られている。道路旅客運送業からは、旅客需要が大幅に増加する年末を迎え、飲食店の時短や休業要請が出されないか不安であるというコメントが寄せられている。

(DI値)

	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況
2020年11月	-33.3	-16.3	-18.3	-21.7	-38.3	-23.4	-40.0	-13.3	-50.0
2020年10月	-38.3	-2.3	-20.0	-16.7	-33.3	-33.3	-50.0	-16.7	-45.0
増減	5.0 ↑	-14.0 ↑	1.7 ↑	-5.0 ↓	-5.0 ↓	9.9 ↑	10.0 ↑	3.4 ↑	-5.0 ↓

## 2. 項目別の前月・今月のDI値の比較

		製造業				非製造業				全体			
		DI値		増減		DI値		増減		DI値		増減	
売上高	2020年11月	-46.7	6.7 ポイント	↑	-20.0	3.3 ポイント	↑	-33.3	5.0 ポイント	↑			
	2020年10月	-53.4			-23.3			-38.3					
在庫数量	2020年11月	-10.0	-6.7 ポイント	↑	-30.8	-30.8 ポイント	↑	-16.3	-14.0 ポイント	↑			
	2020年10月	-3.3			0.0			-2.3					
販売価格	2020年11月	-23.3	0.0 ポイント	-	-13.3	3.4 ポイント	↑	-18.3	1.7 ポイント	↑			
	2020年10月	-23.3			-16.7			-20.0					
取引条件	2020年11月	-26.7	3.3 ポイント	↑	-16.6	-13.3 ポイント	↓	-21.7	-5.0 ポイント	↓			
	2020年10月	-30.0			-3.3			-16.7					
収益状況	2020年11月	-50.0	3.4 ポイント	↑	-26.7	-13.4 ポイント	↓	-38.3	-5.0 ポイント	↓			
	2020年10月	-53.4			-13.3			-33.3					
資金繰り	2020年11月	-30.0	16.6 ポイント	↑	-16.7	3.3 ポイント	↑	-23.4	9.9 ポイント	↑			
	2020年10月	-46.6			-20.0			-33.3					
設備操業度	2020年11月	-40.0	10.0 ポイント	↑					-40.0	10.0 ポイント	↑		
	2020年10月	-50.0							-50.0				
雇用人員	2020年11月	-10.0	6.6 ポイント	↑	-16.7	0.0 ポイント	-	-13.3	3.4 ポイント	↑			
	2020年10月	-16.6			-16.7			-16.7					
業界の景況	2020年11月	-63.3	-6.6 ポイント	↓	-36.6	-3.2 ポイント	↓	-50.0	-5.0 ポイント	↓			
	2020年10月	-56.7			-33.4			-45.0					

### 今月の業種別回答件数

	売上高		在庫数量		販売価格		取引条件		収益状況		資金繰り		設備操業度		雇用人員		業界の景況		
	増加	減少	増加	減少	上昇	悪化	好転	悪化	好転	悪化	好転	悪化	上昇	悪化	増加	減少	好転	悪化	
製造業	食料品	0	1	1	1	0	0	0	0	1	1	1	1	0	2	0	1	0	2
	繊維工業	0	3	1	0	0	1	0	1	0	3	0	2	0	2	0	1	0	3
	木材・木製品	0	3	1	2	0	2	0	1	0	4	0	1	0	2	0	1	0	5
	紙・紙加工品	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	印刷	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1
	窯業・土石製品	0	3	0	1	0	0	0	1	0	3	0	2	0	1	0	2	0	3
	鉄鋼・金属工業	0	1	0	1	0	1	0	1	0	2	0	1	0	2	1	0	0	2
	一般機器	0	3	0	0	0	1	0	2	0	3	0	3	0	3	0	0	0	3
	電気機器	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0
	輸送用機器	3	2	1	1	0	1	0	1	3	2	2	2	2	1	1	0	2	2
その他	0	1	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	
非製造業	卸売業	1	1	0	1	0	1	0	1	1	1	0	0			0	1	0	2
	小売業	0	3	1	3	0	2	0	1	0	4	0	3			0	2	0	4
	商店街	1	3	0	1	1	0	0	1	0	3	0	1			0	0	0	3
	サービス業	2	0			1	1	1	0	2	0	1	0			0	0	2	0
	建設業	1	2			0	2	0	2	0	3	0	1			0	0	0	2
	運輸業	1	3	1	1	1	1	1	2	1	1	0	1			0	2	0	2

### 3.情報連絡員からの報告

#### 製造業

水産食料品	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水産業界では、冷蔵・冷凍設備が多く必要であり、冷凍機械等のフロン問題による機械設備変更を余儀なくされているが、設備投資をする資金を捻出するのが難しい状況。</li> <li>・ 売上げが減少したことに伴い設備操業度も下がったことから、消耗品費等の経費が抑えられ利益が出ている。前向きな事では無いが在庫を減らす事に専念し販売に注力した結果ともとれる。</li> </ul>
織物業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新型コロナウイルスの影響で受注が激減し、会員企業が経営破綻した。業界は非常に厳しい状況が続いており、先の見通しが立たない。今後も廃業や破綻する企業が現れる可能性がある。</li> <li>・ 生地販売の不振が続いている。売上げ減少を少しでも補うように縫製品の加工（作務衣等の加工品販売）を手掛けているが、従来の売上金額にはとても追いつかない状況。来年度も半製品、仕掛在庫が在る為景気低迷は続くと思われる。</li> </ul>
宗教用具	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 低迷の中で前年並みの需要はあるが、先行きの状況が厳しいことになり変わらない。</li> </ul>
製材業、木製品	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 森林伐採が低調で、市場に原木が出回らない状況は変わっていない。</li> </ul>
パルプ・紙・紙加工品	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 依然として低調である。新型コロナウイルスによる自粛が継続し、各業界でイベントが中止されていることから印刷物全般の需要が伸び悩んでいる。</li> <li>・ GoToトラベルキャンペーンの影響で土産関連の包装紙の動きは見られたが、インバウンドの消費減が響いており対前年比では減少している。</li> </ul>
印刷・同関連業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新型コロナウイルスの収束が見えない中で売上げ減少が続いている。</li> <li>・ 競争入札案件は更に価格競争が激化し、採算の合わない価格となっている。</li> <li>・ 印刷資材の値上がりが続いているが、印刷価格相場は据え置きのため利益をが圧迫されている。</li> <li>・ 新型コロナウイルス収束後もL字以下の回復が予想される。穴埋め又は、それを上回るための施策が間に合っていない状況。</li> <li>・ 製造部門は依然低調であるが、物販部門は堅調である。また、新規取引先の関係で、輸入販売部門が好調である。</li> </ul>
セメント・同製品	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 売上げ対前年比72%の状況。</li> <li>・ 一般個人住宅は新型コロナウイルスの影響で建設を見合わせている模様。</li> </ul>
金属製品	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自動車業界は回復傾向にあるが、機械、設備、建設は依然として低迷している。業界全体では昨年比で7割程度に回復していると思われる。</li> <li>・ 急激に回復している業種もあるが、総じて売上高・在庫数量・販売価格・取引状況は10月よりも悪くなっている。雇用人数は増加しているが収益には逆効果である。</li> </ul>
生産用機械器具	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新型コロナウイルスの状況が悪い中でも、少し動きが出てきたかという矢先に感染再拡大ということで、今後の見通しが立たない。</li> <li>・ 新型コロナウイルスの影響がある前の状態にまで回復しているという半導体装置関連業者もあるが、来年にかけて先が見通せない組合員が殆んどである。</li> </ul>
電気機械器具	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外出自粛の影響か、冷蔵庫は大型機種需要が引き続き好調に推移、家庭用エアコンも同様に使用時間伸びていることから省エネ機種の需要が伸びている。</li> <li>・ 業務用エアコンは海外需要の伸びに伴い生産が上向いてきている。</li> </ul>
輸送用機械器具	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 輸送用機械器具製造業関係の売上げは対前年比8割まで回復しているが、設備投資・開発関係は依然として見通しが立っていない。</li> <li>・ 全体で見ると生産量は増加しているが、受注部品によってはバラツキがあり企業間で繁閑差が出ている。今年度中は何とか生産量を確保できる計画になっているが、新型コロナウイルスの収束が見えない中、次年度の見通しが立たない状況。</li> <li>・ 新型コロナウイルス禍にあっても自動車関連部品工場の操業度の水準は高まっており、ほぼ回復していると思われるが、本年4～6月の落ち込みは回復が難しく経常収支の改善は困難であると思われる。</li> <li>・ 受注が激減し回復の見込みもたない事から閉鎖した事業所もある。</li> </ul>

## 非製造業

セメント卸売業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 災害復旧工事・大型公共工事などの需要が下支えとなり、前年実績を2ヶ月連続上回った。</li> </ul>
鮮魚小売業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ GoToキャンペーンにより、飲食店に来客数が戻ってきていたが、11月の3連休明けから来客数が激減。小売りも前ほど内食需要に勢いが無く中長期で見ると不安。</li> </ul>
各種商品小売業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 組合員2社が退会予定。</li> <li>・ Go To商店街が採択されたので、少しでも前に進めるようにしていく。</li> <li>・ 前半はイベント開催もあり賑わいが戻ったが、警戒レベル5を発表した11月の3連休以降は客足が遠のき最終日曜日は通行量も落ち込んだ。</li> <li>・ 23日に、医療従事者に感謝をこめた舞妓姿のパレードを実施した。</li> <li>・ 市内での新型コロナウイルス感染が拡大しており、客数が減っている。また客の滞在時間が短くなっている。</li> </ul>
不動産取引業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新型コロナウイルス禍初期の買い控えの反動からか、土地、建売の動きが活発である一方、新築分譲マンションは厳しい状況が続いている。</li> <li>・ 用地費、建築費を価格に転嫁すると高額になり過ぎるため問い合わせが少ない。値引き、家具等のオプションをつけて、少しずつ在庫を片付けている状態。</li> </ul>
宿泊業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ GoToキャンペーン効果で全体的に好調であったが、新型コロナウイルス第3波に伴い先の予約の勢いが停滞した。今のところ宿泊キャンセル等目立った影響はないものの、当地区の商圏である東京を中心とした首都圏における新型コロナウイルス感染拡大に関する動向が、今後の集客に大きく影響すると思われる。</li> <li>・ 宿泊稼働及び販売実績から見て業界の景況感が好転と受け止められるものの、GoToキャンペーン効果による一過性のものとして捉えると、必ずしも好転とは言い切れない状況である。</li> </ul>
総合工事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 技術職員の数が不足しているため、人員の確保が難しくなっている。</li> <li>・ 民間工事の大型物件は、金額交渉が何度も続き契約に至らない。官庁工事も金額的に厳しい状況。</li> <li>・ 客先の資金繰りが苦しいところが出てきて取引条件が悪くなっている。</li> </ul>
道路貨物運送業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 11月に入り荷物情報が増加傾向となるが、昨年比では半分程度の状況。</li> <li>・ 一方、軽油価格が新型コロナウイルス感染拡大により昨年と比べて年間平均で15円程値下がりしている。</li> </ul>
道路旅客運送業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 10月の県内全体の対前年運送収入は、マイナス27.3ポイントで、9月より7.4ポイント改善したとはいえ、回復の速度が鈍くなっている。さらに第3波の襲来により、県内各地でクラスターが発生するなど、感染再拡大の様相を呈しており、依然として先が見えない厳しい経営状況が続いている。年末を迎え、例年旅客需要が大幅に増加する時期であるが、ここに来て、飲食店の時短や休業要請などが出されないか大きな不安を抱えている。</li> </ul>

## 4. 中央会・行政への要望

### 織物業より

- ・ 会員企業は規模の小さな零細企業が主であるため資金的な余裕が無く、生き残りのための活動には支援が必要。

### 輸送用機械器具製造業より

- ・ 新型コロナウイルス禍において、「対策と経済の両立」という言葉や表現は理解できても、政府の対策は全体像を表現しているだけで、きめ細かい両立の方策は乏しい限りである。
- ・ Go To キャンペーン施策は三次産業を維持するために国民に対してリスク転嫁をしているだけである。観光業界の疲弊は、インバウンドという横文字表現による外需依存であり、そもそも国内需要が少ない業界であるということを洞察して将来への展望を考える必要があると考える。

## 5. 主要三指標における DI 値の推移

■ 2019年11月期～2020年11月期までの推移

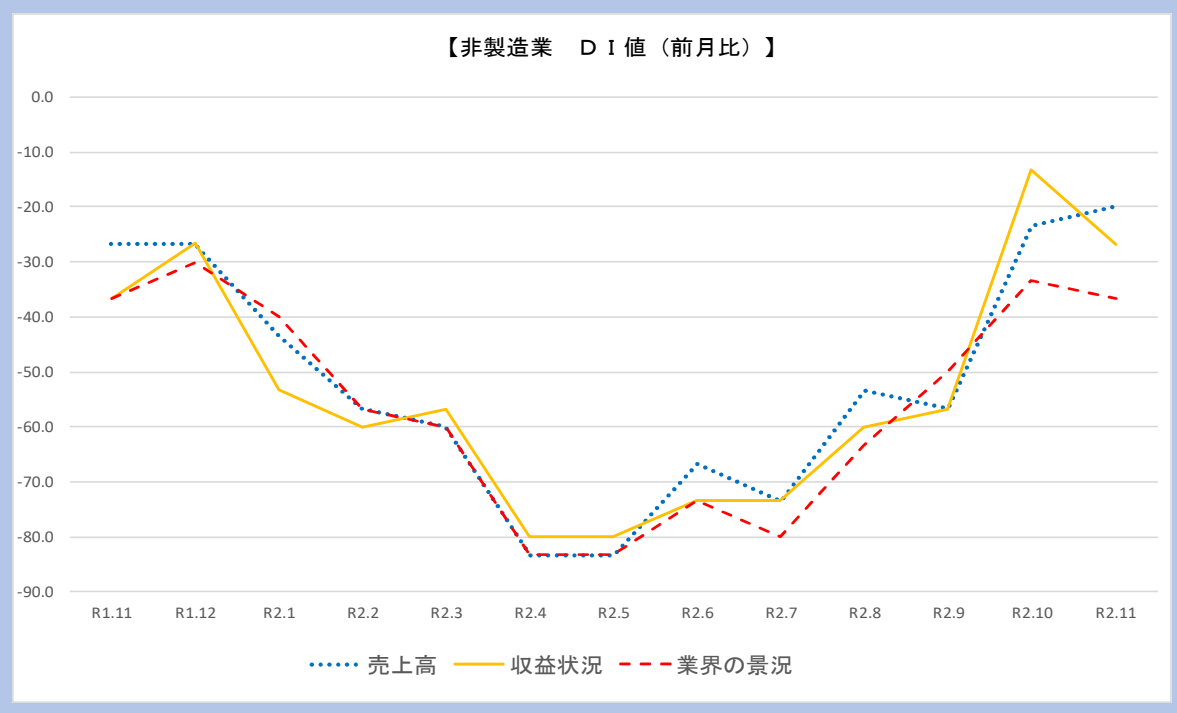
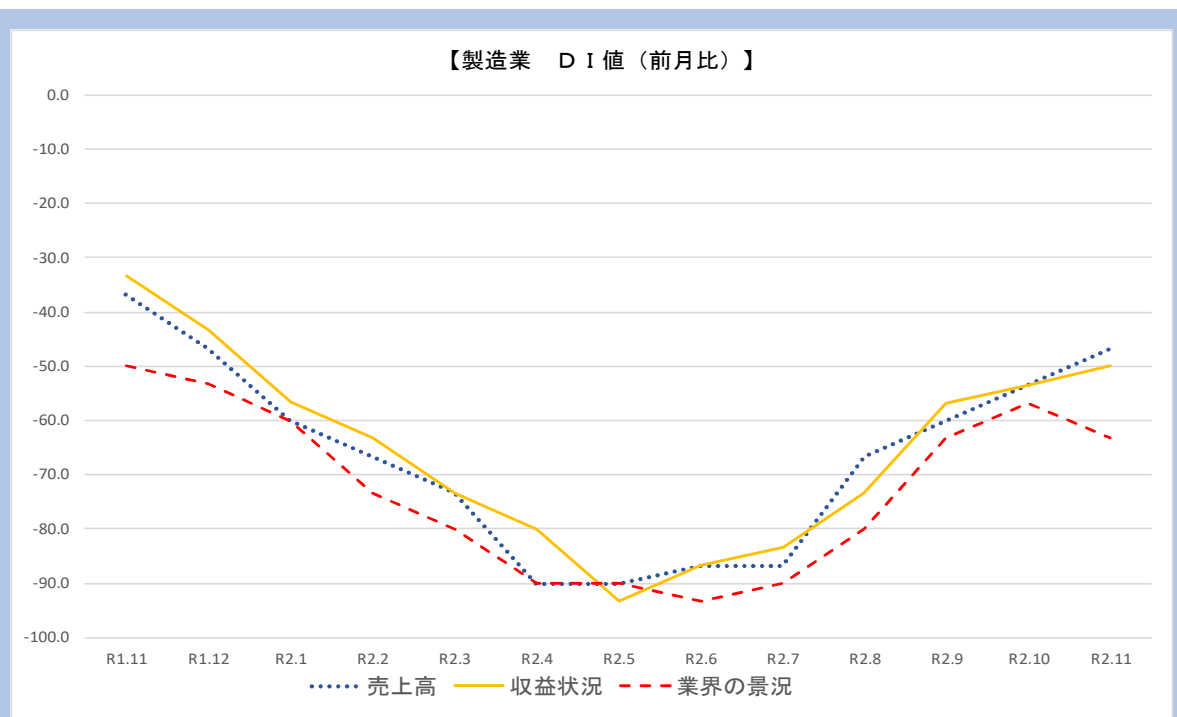
全体	R1.11	R1.12	R2.1	R2.2	R2.3	R2.4	R2.5	R2.6	R2.7	R2.8	R2.9	R2.10	R2.11
売上高	-31.6	-36.7	-51.7	-61.7	-66.7	-86.6	-86.7	-76.7	-80.0	-60.0	-58.4	-38.3	-33.3
収益状況	-35.0	-35.0	-55.0	-61.7	-65.0	-80.0	-86.7	-80.0	-78.3	-66.7	-56.7	-33.3	-38.3
業界の景況	-43.4	-41.6	-50.0	-65.0	-70.0	-86.7	-86.7	-83.3	-85.0	-7.7	-56.7	-45.0	-50.0

製造業	R1.11	R1.12	R2.1	R2.2	R2.3	R2.4	R2.5	R2.6	R2.7	R2.8	R2.9	R2.10	R2.11
売上高	-36.7	-46.7	-60.0	-66.7	-73.3	-90.0	-90.0	-86.7	-86.7	-66.7	-60.0	-53.4	-46.7
収益状況	-33.3	-43.4	-56.6	-63.3	-73.3	-80.0	-93.3	-86.7	-83.4	-73.3	-56.7	-53.4	-50.0
業界の景況	-50.0	-53.3	-60.0	-73.3	-80.0	-90.0	-90.0	-93.3	-90.0	-80.0	-63.3	-56.7	-63.3

非製造業	R1.11	R1.12	R2.1	R2.2	R2.3	R2.4	R2.5	R2.6	R2.7	R2.8	R2.9	R2.10	R2.11
売上高	-26.7	-26.7	-43.4	-56.7	-60.0	-83.3	-83.4	-66.6	-73.4	-53.3	-56.7	-23.3	-20.0
収益状況	-36.7	-26.6	-53.3	-60.0	-56.7	-80.0	-80.0	-73.4	-73.3	-60.0	-56.7	-13.3	-26.7
業界の景況	-36.7	-30.0	-40.0	-56.7	-60.0	-83.3	-83.3	-73.3	-80.0	-63.3	-50.0	-33.4	-36.6



■ 2019年11月期～2020年11月期までの推移

売上高	R1.11	R1.12	R2.1	R2.2	R2.3	R2.4	R2.5	R2.6	R2.7	R2.8	R2.9	R2.10	R2.11
製造業	-36.7	-46.7	-60.0	-66.7	-73.3	-90.0	-90.0	-86.7	-86.7	-66.7	-60.0	-53.4	-46.7
非製造業	-26.7	-26.7	-43.4	-56.7	-60.0	-83.3	-83.4	-66.6	-73.4	-53.3	-56.7	-23.3	-20.0

収益状況	R1.11	R1.12	R2.1	R2.2	R2.3	R2.4	R2.5	R2.6	R2.7	R2.8	R2.9	R2.10	R2.11
製造業	-33.3	-43.4	-56.6	-63.3	-73.3	-80.0	-93.3	-86.7	-83.4	-73.3	-56.7	-53.4	-50.0
非製造業	-36.7	-26.6	-53.3	-60.0	-56.7	-80.0	-80.0	-73.4	-73.3	-60.0	-56.7	-13.3	-26.7

業界の景況	R1.11	R1.12	R2.1	R2.2	R2.3	R2.4	R2.5	R2.6	R2.7	R2.8	R2.9	R2.10	R2.11
製造業	-50.0	-53.3	-60.0	-73.3	-80.0	-90.0	-90.0	-93.3	-90.0	-80.0	-63.3	-56.7	-63.3
非製造業	-36.7	-30.0	-40.0	-56.7	-60.0	-83.3	-83.3	-73.3	-80.0	-63.3	-50.0	-33.4	-36.6

